

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスみらい伊川谷校		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や利用児童の立場や意思、考えを最大限に尊重し、個人個人に応じた、きめ細やかな支援が提供できている。	毎月職員会議を行い、個別支援計画を元に、児童の現状や課題の確認を行い、支援方法変更について、更に向上していくにはどうすればよいか、変更の必要性はないかなどを話し合い、以降の支援で実践している。	毎月職員会議を行い、個別支援計画を元に、児童の課題の確認を行い、支援方法変更について、更に向上していくにはどうすればよいか、変更の必要性はないかを話し合い、以降の支援で実践している。
2	事業所を利用する際に、運営規程や支援プログラム、個別支援計画についてや、利用者負担等について、わかりやすく丁寧な説明ができています。	契約時に、契約書や重要事項説明書に基づいて、時間を掛けてわかりやすく丁寧に説明している。	今後も、更なるわかりやすさを求めて取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援ができていない。	個別懇談会は今も定期的に行っているが、コロナ以降、安全面を考慮して、以前は行っていた保護者会を開催しなくなった。	コロナの脅威も去り、以前よりも安全面の担保もさがるように思うので、父母の会や保護者会等を開催は立ってきている。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会、また事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営ができていない。	時間的な制約が大きく、検討するも実現に至っていない。	平日に交流の機会を設けることは、時間的な面などでは難しいが、長期休みなどに可能な方法がないか、き検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスみらい伊川谷校

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 29

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	座卓に変えてくれて椅子が無くなった分、広くなった	出来る限り障害物がないようにし、雨天時なども室内でゆっくり過ごせるなど、有効スペースを使用していく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	0%	0%	10%	一人一人をしっかり見ていただける数だと思います。	今後も、その時の状況に応じて配置していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	部屋の中には段差がないので活動しやすいと思う。	個々の児童に合わせた活動スペースを確保し、視覚等でも情報が入りやすいように環境を整えていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもにとってわかりやすく動きやすい空間になっていると思います。	今後も、清潔保持に努めていく。また、利用児童に対しても、清潔な環境の大切さを伝えていくとともに、カリキュラムなどで掃除の仕方や清潔保持の方法を伝えていく。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもをよく見て理解して下さっていると感じています。	研修を受ける機会を確保し、積極的に参加できるような環境を整え、専門性を高められるよう努めていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもをよく見て理解して下さっていると感じています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもをよく見て理解して下さっていると感じています。	必要に応じて、計画作成時以外にも会議等を重ね、常に客観的な視線から見直していく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもをよく見て理解して下さっていると感じています。	必要に応じて、計画作成時以外にも会議等を重ね、常に客観的な視線から見直していく。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も、個別支援計画に沿った支援に取り組んでいく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	多種多様のトレーニングをして下さっていると思います。	アップデートしうるようなプログラムを提供し、また、同じプログラムを提供する場合でも、アプローチの仕方を変えるなど
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	33%	14%	14%	38%		今後積極的に交流する機会を作れるよう、検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%	5%	0%	0%	詳しく説明していただきました。	今後も、同様に、丁寧に説明していく。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95%	5%	0%	0%	詳しく説明していただきました。	今後も、同様に、丁寧に説明していく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	57%	10%	5%	28%		現状ではペアレント・トレーニングを行うことは時間的に難しいが、必要性や希望に応じて実施できる方法を検討していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	連絡帳や電話等で伝え合い、共通理解できていると思います。	今後も、同様の支援を継続していく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	困った事などの助言をしていただき、助かっています。	今後も、いつでも個別懇談に応じられるよう、利用児童を始め保護者の悩みや相談が気軽にできる環境を整えておく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	とても共感して頂いており、心が軽くなります。	今後も、同様の支援を継続していく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	29%	14%	19%	38%	父母会に参加できなかった	できる限り全員が参加できるよう調整して、今後はもう少し頻度を増やしていく。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95%	5%	0%	0%	急な相談にのってもらって助かった。 いつでも相談に乗って頂ける安心感があります。	今後も、いつでも個別懇談に応じられるよう、利用児童を始め保護者の悩みや相談が気軽にできる環境を整えておく。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	対応して頂いている	個々の利用児童に応じた意思伝達の方法を用いて対応していく。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	85%	10%	0%	5%	毎月予定を教えて頂いている	SNSや保護者会を利用して、活動内容を発信している。また、毎月半ば頃には翌月の行事予定を印刷物にて保護者に配布しており、今後も継続していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	対応して頂いている	今後も、しっかり法令遵守し、全職員に周知徹底していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80%	10%	0%	10%		職員には、定期的にマニュアルの閲覧を促して周知徹底し、保護者には来所時、閲覧を促し、しっかりと説明をしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	85%	10%	0%	5%		来所している全児童、全職員で、年2回以上避難訓練を行っており、今後も継続していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	85%	10%	0%	5%		今後も、同様の支援を継続していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	81%	14%	0%	5%	すぐにご連絡頂けると思います。	今後も、同様に、丁寧に説明していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	先生のお名前が数人出てくるので、安心感を持っているのが伝わってきます。	今後も、同様の支援を継続していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	カレンダーで、今日は行く日？と確認しているのが、楽しみにしているのが伝わってきます。	来所が楽しくなる様、工夫しており、今後も継続していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	安心してお任せできると感じております。	保護者の意見を、最大限尊重しながら支援しており、今後も継続していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスみらい伊川谷校					公表日	令和8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	限られたスペースの中で、利用児童がゆったりと過ごせることを最優先に、死角がないよう資材を配置している。	出来る限り障害物がないようにし、雨天時なども室内でゆっくり過ごせるなど、有効スペースを使用していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	その日の利用児童数や状況に合わせて、職員数を確保している。	今後も、その時の状況に応じて配置していく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	立地はマンションの2階になるが、室内は段差なく二部屋を一部屋にしているため児童が利用するスペースは広くバリアフリーになっている。また、活動スペース、手洗い場やトイレなどの生活動線を分かりやすく整えている。	個々の児童に合わせた活動スペースを確保し、視覚等でも情報が入りやすいように環境を整えていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の掃除はもとより、拭き掃除には水を使用せず消毒効果の高い洗剤やアルコールを使用し、他にも、空気清浄機・加湿器の使用など、清潔保持に努めている。また、来所時には手洗い消毒を励行している。 <small>児童が使う道具は、何がどこにあるかわかり</small>	今後も、清潔保持に努めていく。また、利用児童に対しても、清潔な環境の大切さを伝えていくとともに、カリキュラムなどで掃除の仕方や清潔保持の方法を伝えていく。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の部屋を設けている。	今後も継続していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	毎月職員会議を行い、個別支援計画を元に、児童の現状や課題の確認を行い、支援方法変更について、更に向上していくにはどうすればよいか変更の必要性はないかなどを話し合い、以降の支援で実践している。	それぞれの職員が意識しながら支援にあたるよう、職員連絡ノートや申し送り時などに聞き取り等取り組んでいく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月職員会議を行い、保護者向け評価表を元に、児童の現状や課題の確認を行い、支援方法変更について、更に向上していくにはどうすればよいか変更の必要性はないかなどを話し合い、以降の支援で実践している。	それぞれの職員が意識しながら支援にあたるよう、職員連絡ノートや申し送り時などに聞き取り等取り組んでいく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月職員会議を行い、職員の意見を参考にして、児童の現状や課題の確認を行い、支援方法変更について、更に向上していくにはどうすればよいか変更の必要性はないかなどを話し合い、以降の支援で実践している。	それぞれの職員が意識しながら支援にあたるよう、職員連絡ノートや申し送り時などに聞き取り等取り組んでいく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	保護者会や面談で意見を求めたり今回のようなアンケートで率直な意見を伺い、改善する努力を行っている。	今後も、同様に取り組んでいく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	児童が来所するまでの時間を利用し、当事業所で行っているカリキュラムを指導する際に必要な技術習得の講習や、放課後等デイサービスの知識・技能向上に関わるビデオ研修の実施、また外部参加の研修内容を、内部研修で職員と共有し支援に活かしている。	今後も、同様に取り組んでいく。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	今回が初めてになるので、今後、適切に公表していく。	今回が初めてになるので、今後、適切に公表していく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	計画を作成する際には必ずモニタリングと職員会議をおこない、独断的な計画にならない様になっている。	必要に応じて、計画作成時以外にも会議等取り組んでいく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	計画を作成する際には必ずモニタリングと職員会議をおこない、独断的な計画にならない様になっている。	必要に応じて、計画作成時以外にも会議等取り組んでいく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎月職員会議を行い、個別支援計画を元に、児童の現状や課題の確認を行い、支援方法変更について、更に向上していくにはどうすればよいか変更の必要性はないかなどを話し合い、以降の支援で実践している。	今後も、同様に取り組んでいく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別ケース記録に日々の支援の様子や、児童の行動観察などを記録し、全職員が常に閲覧して確認している。	今後も、同様に取り組んでいく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	計画を作成する際には必ずモニタリングと職員会議をおこない、具体的に適切な支援内容を設定している。	今後も、同様に取り組んでいく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	従来より行っているカリキュラムの内容の改善や新しいカリキュラムの立案をいつでもおこなえる様、また、取り組みやすい環境を整えている。	常勤職員だけで立案せず、非常勤職員の意見やアイデアも積極的に取り入れていく。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	児童の状態に応じて少しずつステップアップしていけるようなプログラムを提供している。また、同じプログラムを提供する場合でも、アプローチの仕方を変えるなどの工夫をしている。	今後も、同様に取り組んでいく。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	計画を作成する際には必ずモニタリングと職員会議をおこない、独断的な計画にならない様になっている。	今後も、同様に取り組んでいく。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	児童の来所前には申し送りを行い、来所予定者や欠席者の確認と心身状態についての留意事項の伝達・その日のカリキュラムの要点や注意点・各カリキュラムの主導者の確認などを行っている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	70%	30%	留意点や特変事項については、随時管理者や児童発達支援管理責任者に口頭で報告するとともに、来所日毎に個別記録を記入して必要に応じて職員がいつでも閲覧できるようにし、職員会議や申し送り時にも伝達している。	常勤職員だけではなく、非常勤職員の支援終了後の振り返りも促していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	個別ケース記録に日々の支援の様子や、児童の行動観察などを記録し、全職員が常に見閲して確認し支援の検証・改善につなげている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的(基本的には半年毎)にモニタリングとカンファレンスをおこない、個別支援計画を見直して新たに作成し、保護者の承認を得ている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	放課後等デイサービスガイドラインに沿って、支援を行っている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	将来的な自立を見据えた、支援を行っている。	今後も、同様に取り組んでいく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	相談支援事業所からのケースについては、担当者からの求めに応じて、児童発達支援管理責任者が参加できる体制を整えている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%	協力医療機関と常時連絡を取り合える体制を整えている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時に学校の先生と話をしたり、学校だよりを頂く事により、情報共有を行っている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10%	90%	児童発達支援管理責任者が、必要がある場合のみ、連絡を取り合っている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10%	90%	児童発達支援管理責任者が、適切な情報提供を求められた場合のみ、情報を提供している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%	左記にあるような機会は作れていない。	平日に交流の機会を設けることは現状では難しいが、長期休みなどに可能な方法がないか検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	左記にあるような機会は作れていない。	平日に交流の機会を設けることは現状では難しいが、長期休みなどに可能な方法がないか検討していく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	10%	90%	児童発達支援管理責任者が、定期的に参加している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳、または、訪問や電話などで共通理解のもとで支援を継続していけるようにしている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%	必要に応じて自宅での支援方法のアドバイスなどをおこなっているが、ペアレント・トレーニングは実施していない。	現状ではペアレント・トレーニングを行うことは時間的に難しいが、必要性や希望に応じて実施できる方法を検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に、契約書や重要事項説明書に基づいて説明している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	可能な限り、児童発達支援管理責任者が訪問して内容の説明を行っている。訪問が難しい場合には、送迎時を利用して伝えたり電話で対応している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	可能な限り、児童発達支援管理責任者が訪問して内容の説明を行っている。訪問が難しい場合には、送迎時を利用して伝えたり電話で対応して、同意を得ている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの相談があった時には、出来る限り迅速に訪問や面談、或いは電話などで聞き取りを行い、必要な情報提供とアドバイスをしている。また、常時個別懇談が出来る体制を整えている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	コロナ以降、個別懇談会のみで、保護者会は開催できていない。	今後は個別懇談会とは別に、コロナ以前に行っていた、保護者会の開催を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	直接苦情があった時には、事業所の責任者や当事者が出来るだけ早期に対応している。また、重要事項説明書に苦情対応窓口を掲載している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	SNSを利用して、活動内容を発信している。また、毎月半ば頃には翌月の行事予定を印刷物にて保護者に配布している。	今後も、同様に取り組んでいく。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約書と重要事項説明書に基づいて、法令遵守している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	個々の利用児童に応じた意思伝達の方法を用いて対応している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	左記にあるような機会は作れていない。	平日に交流の機会を設けることは現状では難しいが、長期休みなどに可能な方法がないか検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	事業所内に各マニュアルを常備し、いつでも閲覧できるようにして周知している。	職員には、定期的にマニュアルの閲覧を促して周知徹底し、保護者には来所時、閲覧を促し、しっかりと説明をしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）に基づき、来所している全児童、全職員で、年2回以上避難訓練を行っている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	毎月の職員会議の中や、日々の申し送りの中で、全職員に周知徹底させている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーのある児童については、保護者からの情報をもとに、個別に対応している。	今後も、同様に取り組んでいく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画書を作成し、毎月の職員会議の中や、日々の申し送りの中で、全職員にその内容を周知徹底させている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20%	80%	安全計画書を作成し、毎月の職員会議の中や、日々の申し送りの中で、全職員にその内容を周知徹底させているが、家族等への周知は足りていない。	今後も、同様に取り組んでいきながら、家族等への周知を積極的に行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月の職員会議の中や、日々の申し送りの中の議題として、全職員に周知徹底させている。	今後も、同様に取り組んでいく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年2回以上、虐待防止研修を行い、全職員に周知徹底させている。	今後も、同様に取り組んでいく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0%	100%	現在、身体拘束を行っている事例はない。	今後そのような事例が発生しそうな時には、十分な説明と了解を得て個別支援計画に記載していく。	